Bearmax

BEARMAX

DVD/ラジオ/カセットプレーヤー
ミニコンポーネントシステム

MODEL：HTR-601G

取扱説明書

●このたびはBEARMAX ミニコンポーネントシステム「MODEL:HTR-601G」をお買い上げいただきありがとうございました。

●本品を正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになった後は保証書と共に大切に保存してください。

●保証書には、必ずお買い上げ店、お買い上げ日等の記入を確かめて販売店からお受け取りください。

●記入がない場合は保証の対象にならない場合がありますので充分ご注意下さい。

株式会社　クマザキエイム

安全上のご注意

電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。
ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

⃠ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

●100V以外禁止

交流100V以外の電圧では使用しないこと。自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●ACコードをコンセントから抜く

雷が近づいたら、電源プラグをコンセントか抜いてください。

●禁止

ACコードを傷つけないこと。コードが破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止

この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

●禁止

CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●水ぬれ禁止

近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

●禁止

内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものをいれないこと。火災・感電の原因となります。

●ぬれ手禁止

ぬれた手でACコードの抜き差しをしないこと。感電します。

●禁止

本体背面の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

●点検・修理

万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因となります。

●乾電池は同一の新品を使用

仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

⚠ 注意

●禁止

ぐらついた台や傾いた所に置かないこと。
落下しケガ・故障の原因になります。

●禁止

温度の異常に高い場所で使用しないでください。通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因となることがあります。

●禁止

調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になることがあります。

●禁止

駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しないでください。樹脂部品の変形の原因になります。

●ACアダプターをコンセントから抜く

長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

●乾電池を取り出す

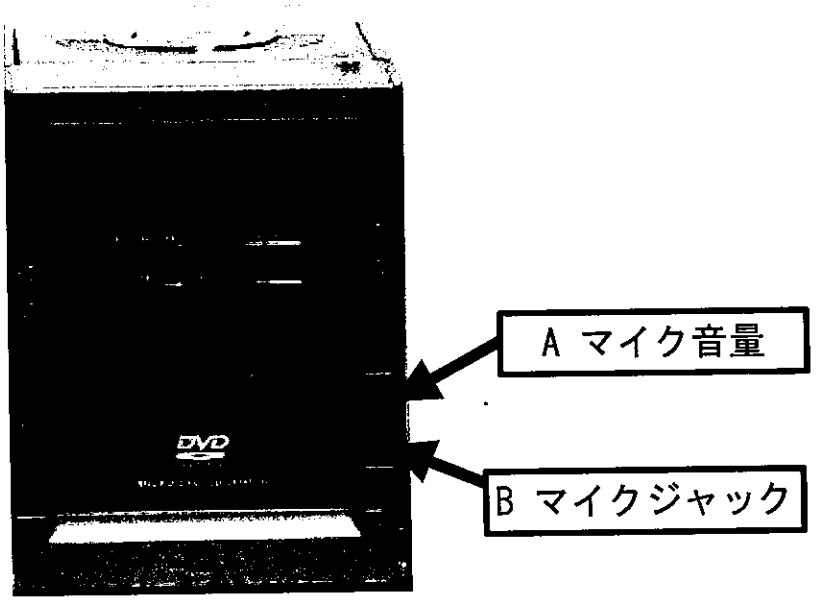
長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。万一の液漏れによる故障を防ぎます。

●禁止

電源を切る前には音量を下げること。再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

【 ご　注　意 】

本製品はマイクロホン入力端子を搭載しております。
お手持ちのマイクを接続して
カラオケやお稽古の練習などにお使いいただけます。



【マイクロホンを接続するには】

① 本体前面にある[B マイクジャック]にマイク(市販)を接続します。

② 電源を入れます。

③ ファンクション切換スイッチを、DVDもしくはカセットテープに合わせます。カセットテープに合わせた場合は、カセットテープ再生ボタンを押します。

④ 本体前面にある[A マイク音量ツマミ]でボリュームを調整してください。

総発売元:株式会社クマザキエイム

DVD MINI COMPORNENT SYSTEM HTR-601G

【 ご　注　意 】

◎TV画面が白黒で下方に寄って映っている場合、TV設定がPAL(ヨーロッパ仕様)になっています。日本では、NTSC(日米仕様)に切換が必要です。
本体前部にある「PAL/NTSC切換ボタン」を押してNTSC方式に切り換えてください。

※取扱説明書６ページ参照。

◎ 2チャンネル対応で聞いているときに画面中央の音声が聞こえない場合、スピーカー設定が5．1チャンネルになっています。スピーカー設定の ダウンミックスを ステレオに設定してください。
リモコン操作で　「設定ボタン」→「オーディオ設定」→「スピーカー設定」→「ステレオ」に設定してください。

又、5．1チャンネル対応のスピーカーを使用してるときに5．1チャンネル対応にならない場合は、スピーカー設定の ダウンミックスをオフにしてください。
リモコン操作で　「設定ボタン」→「オーディオ設定」→「スピーカー設定」→「オフ」に設定してください。

※取扱説明書２０ページ参照。

◎ スピーカー端子を省く本体の音声出力は DVD/CD専用　です。ラジオとテープの再生時に音声信号は出力されません。

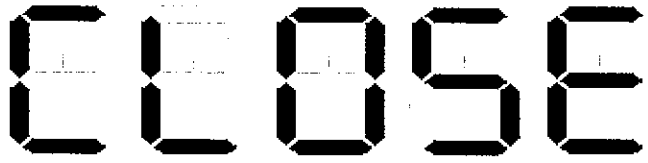
総発売元：株式会社クマザキエイム

DVD MINI COMPORNENT SYSTEM HTR-601G

本体液晶画面に表示されるアルファベット表示例

本体液晶画面に表示されるアルファベット文字は、表示要素の都合で以下のように表示されます。
t、d、rは小文字で表示されます。

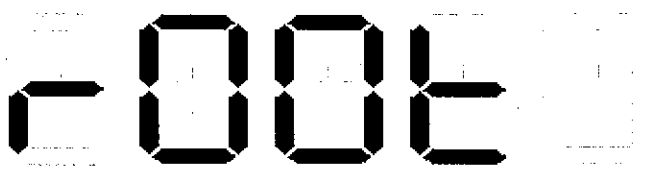
OPEN



CLOSE

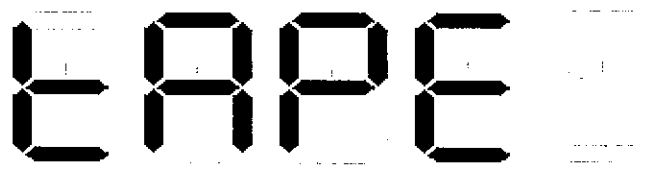
LOAD（LOAd）

TITLE （tItLE）



ROOT（rOOt）

AM FM



TAPE（tAPE）

DVD（dVd）

ご使用の前に

本機の概要

●本機は出荷時に以下の設定になっていますので、もし、変更される場合は"初期設定"に従い、設定し直してください。
・NTSC—日本のテレビ方式
・日本語表示—画面表示が日本語(一部英語表記)
・2.1chステレオ

●本機は以下のディスクおよび音楽ソースに対応しています。記録方式によっては再生できない場合もあります。
・DVD(片面/両面)(一層/二層)
・VCD・CD・MP3・ラジオ・カセットテープ

本機で再生できるディスクの種類

●本機は以下のディスクをアダプター無しで再生できます。

DVDビデオ	DVD-R	DVD-RW	
ビデオCD	CD-ROM	CD	MP3

※ビデオモードで記録したDVD-RWディスク(Ver1.1)・DVD-Rディスク(Ver2.0)は再生可能です(ピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーとの相性によって、再生できない場合があります。またビデオレコーディングフォーマットで記録したディスクは再生できません)。
※DVD-RW・DVD-RはDVDディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。

●DVDビデオのリージョン番号について(地域番号)
・発売地域ごとにDVDビデオのソフトと再生機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。(本機のリージョン番号は「2」です)
・本機は「2」、「ALL」、「2」を含むものが表示されたDVDビデオを再生できます。

●本機で再生できないディスク
・本機のDVDプレーヤーではDVD-ROM・DVD-RAM・DVD-Audioは再生できません。

●コピーコントロールCD
・本機のDVDプレーヤーでは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

●JPEGの再生
・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではコダックピクチャーCD、またはCD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方式によって再生できない場合があります)。
・ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・JPEGファイルには".jpg" ".JPGの拡張子がつきます。

●MP3の再生
・MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3という形式で圧縮した音楽データです。
・ISO9660レベル1、レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHzで記録されたファイルに対応しています。これ以外で記録されたファイルは再生できません。
・可変ビットレートには対応していません。
・"mp3"または"MP3"の拡張子がついていないファイルは再生できません。(拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類をあらわす文字です)

DVD・CD-Rに表示されているマークについて

●DVDやCD-Rのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像や音声のタイプ・機能をあらわしています。

DTSデジタルサウンド　ドルビーデジタルサウンド　アングル数

●DTSデジタルサウンド
DTSとはデジタルシアターシステム(Digital Theater System)の略で、5.1chのデジタルサラウンドの録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式です。DTSデコーダーを搭載した機器と接続するとDTSの音声を楽しめます。
●ドルビーデジタルサウンド
DVDの標準音声タイプのことで、モノラルやステレオで記録されているソフトであれば、5.1chサラウンドで記録されているものもあります。ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)で記録されているソフトでは、それぞれ5つのチャンネルごとに音声が記録されていて、サブウーハーから出力される低音も記録されています。本機を5.1chプロセッサーつきAVアンプと接続することにより、臨場感あるマルチチャンネル再生を楽しむことができます。
●アングル
複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルを変えて見ることができます。中の数字はアングル数を表しています。
●本機のDVDプレーヤーはDVDフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。
マークは、DVDビデオディスクの統一マークです。
マークは、音楽用CDの統一マークです。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
DOLBY・ドルビー・およびダブルDマークはドルビーラボラトリーズの商標です。
DTS・DTSデジタルサラウンドはデジタルシアターシステム社の登録商標です。
DVDは商標です。

●ディスクに関する用語について
一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD/音楽用CDは「トラック」で区切られています。
【タイトル】DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
【チャプター】タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
【トラック】ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。
それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。ディスクによっては各々の番号が記録されていないものもあります。

ご使用の前に

本機の取扱いについて

●極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
●窓を閉め切った自動車内での放置はしないでください。
※本機の変形や、ディスプレイが故障する原因となります。また0°以下、40°以上になると、液晶パネルの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。(使用温度の目安:0℃～40℃)

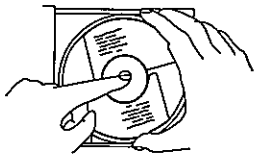
結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

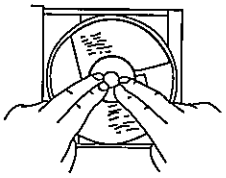
●ケースからの出し入れは

センターホルダーを押さえ



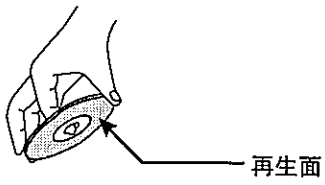
再生面に触れないように
持って取り出します。

印刷面を上にして…



上から押さえて入れます。

●ディスクの取扱いかた
■再生面には手をふれないでください。



●ディスクの保管のしかた
■直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
■ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

●本機を持ち運びするときは
■ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上のご注意

●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、放射状に軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
●シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
●ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

●ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

●ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

●再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。
●CD-R/CD-RWに記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。
●コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

お手入れのしかた

●本体
本体は、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞ってふいてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。(変色や変質の恐れがあります)

●DVD/CD/MP3プレーヤー・レンズ部のクリーニング
※クリーニングの前に必ず電源を切ってください。
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、演奏ができなくなった場合にクリーニングしてください。
◎ゴミやほこりがついた場合
市販のブロワーでレンズを2，3回吹き、ブロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。
◎指紋などがついた場合
ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。

※ご注意
クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。
レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

(カセットレコーダー部のお手入れについては、P.19「カセットテープを使うには」をご覧ください)

もくじ

安全上のご注意 2

ご使用の前に 3・4
- 本機の概要 3
- 本機で再生できるディスクの種類 3
- DVD・CD-Rに表示されているマークについて 3
- 本機の取扱いについて 4
- 結露について 4
- ディスク取扱い上のご注意 4
- ディスク使用上のご注意 4
- お手入れのしかた 4

付属品 5

各部の名称と機能 6・7
- 本体部 6
- リモコン部 7

接続するには 8・9・10
- テレビとの接続 8
- オーディオシステムとの接続 8
- 5.1CHプロセッサー付きAVアンプとの接続 9
- ドルビーデジタル(AC-3/DTS)プロセッサー付きデコーダーとの接続 10

リモコンを使うには 11
- 乾電池の入れ方 11
- リモコンの使い方 11
- 別売りのヘッドホンを使うには 11

DVDを再生するには 12
- 基本操作 12
- DVDを停止するには 12
- スキップ再生 12
- 早送り/巻戻し再生 12
- 一時停止/コマ送り再生 12
- スロー再生 12

CDを再生するには 13
- 基本操作 13
- スキップ再生 13
- 早送り/巻戻し再生 13
- 一時停止 13

MP3を再生するには 14
- 基本操作 14

VCD(ビデオCD)を再生するには 14

ピクチャーCDを再生するには 15
- 再生モード 15
- スキップ再生 15
- 画像回転 15
- 画像反転 15
- 画像縮小/ズーム 15
- スライドショー効果 15

便利な機能 16・17
- 画面表示について 16
- プログラム再生 16
- リピート再生 16
- 字幕切換 17
- ズーム再生 17
- 音声切換 17
- アングル切換 17
- 好きなシーンを探す 17
- ヘッドホンを使用するには 17

ラジオを聞くには 18

カセットテープを聞くには 18・19
- カセットテープを聞くには 18
- カセットテープの選び方 18
- カセットテープの取り扱いについて 18
- DVDから録音するには 19
- 本機のラジオから録音するには 19
- お手入れのしかた 19

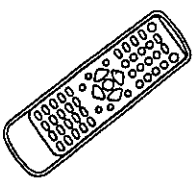
初期設定 20・21
- 一般設定ページ 20
- オーディオ設定ページ 20
- ビデオ設定ページ 21
- 選択ページ 21
- パスワード設定ページ 21
- 設定メニュー終了 21

故障かな？と思ったら 22

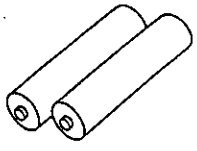
主な仕様 23

保証書 24

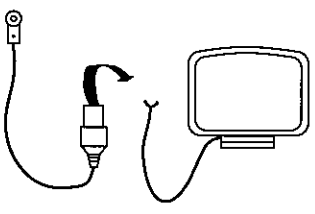
付属品



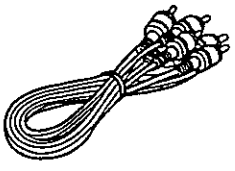
リモコン



リモコン用
単4乾電池

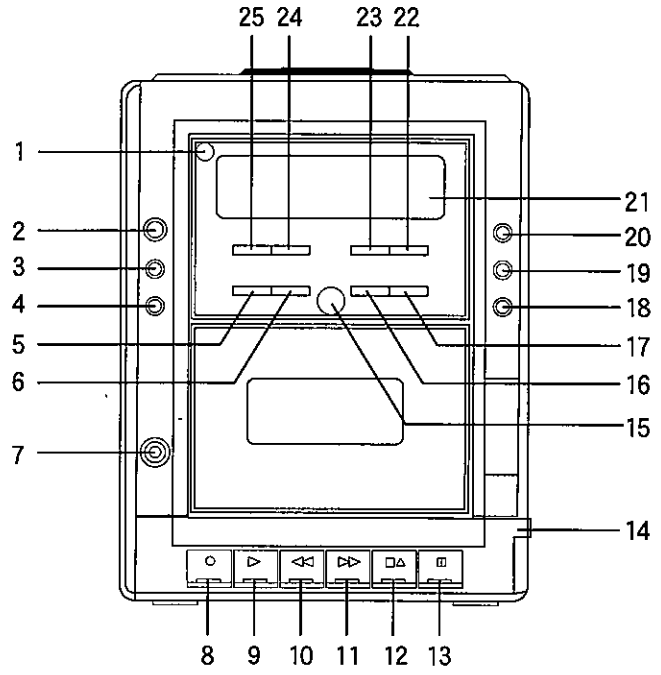


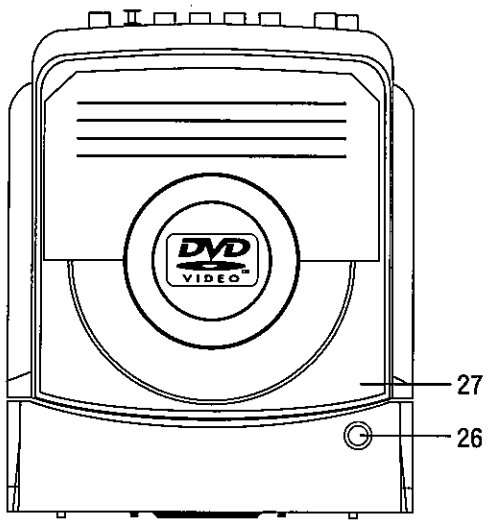
FMアンテナ
AMループアンテナ



ビデオ/オーディオ
ケーブル

各部の名称と機能 —本体部—





1. スタンバイインディケーター
リモコンで電源を切っているときに点灯し、電源を入れると消えます。
2. 電源ボタン
電源の入/切の操作ができます。リモコンでも同じ操作ができます。
3. ディスプレイボタン
再生中にディスプレイボタンを押すと、経過時間と残り時間が画面に表示されます。
4. ファンクション切換スイッチ
DVD、カセットテープ、ラジオの切換えをします。

5/6. 音量ボタン
音量を調節します。

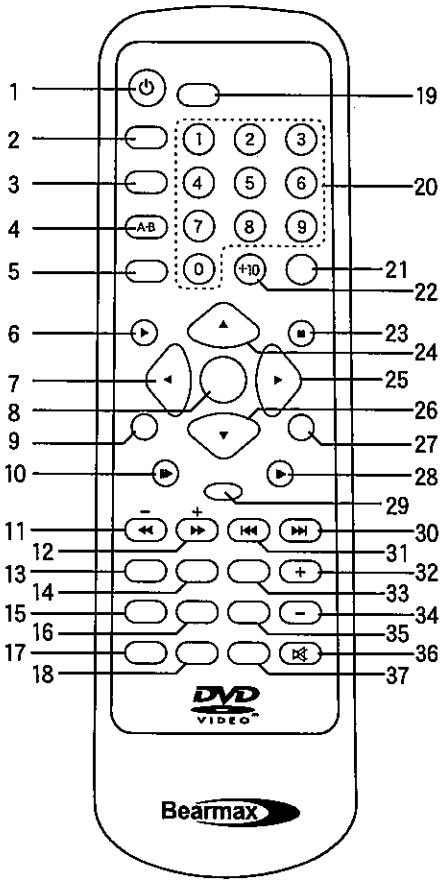
7. ヘッドフォンジャック
ヘッドフォンで聞くときに接続します。
8. カセットテープ録音ボタン
DVDやラジオの音を録音することができます。録音するときは、再生ボタンも同時に押します。
9. カセットテープ再生ボタン
カセットテープを再生します。
10. カセットテープ巻戻しボタン
カセットテープを巻戻します。
11. カセットテープ早送りボタン
カセットテープを早送りします。
12. カセットテープ停止/取出しボタン
再生中に1回ボタンを押すとカセットテープの再生または録音を停止します。もう1度押すとカセットテープドアーが開き、取出すことができます。
13. カセットテープ一時停止ボタン
カセットテープを一時停止します。
14. カセットドアー
手前に引くと、カセットボタンカバーが開きます。
15. リモコンセンサー
リモコンからの信号を受信します。
16. DVD/CD/MP3スキップボタン ⏮
ボタンを押して、前のチャプター(DVD)またはトラック(CD/MP3)を頭出しします。
17. DVD/CD/MP3スキップボタン ⏭
ボタンを押して、次のチャプター(DVD)またはトラック(CD/MP3)を頭出しします。
18. バンド切換・リピート1曲/全曲ボタン
FM、AMを切り換えます。
DVD/CD/MP3を再生中は、1曲リピート/全曲(全チャプター、全タイトル)を切り換えます。
19. サブタイトルボタン
異なる言語の字幕が画面に表示されます。
20. PAL/NTSC切換ボタン
PAL/NTSCの切換えをします。日本ではNTSC方式のため、出荷時の設定はNTSCになっています。
21. 液晶ディスプレイ
DVD/CD/MP3の情報を表示します。
22. DVD/CD/MP3再生/一時停止ボタン
DVD/CD/MP3を再生または一時停止します。
23. DVD/CD/MP3停止ボタン
DVD/CD/MP3を停止します。

24/25. 選局ボタン
ラジオの選局をします。

26. DVD/CD/MP3ドアー"開"ボタン
DVD/CD/MP3ドアーを開けるときに押します。
27. DVD/CD/MP3ドアー"閉じる"
DVD/CD/MP3ドアーを閉じます。ディスクを入れてドアーを閉じると、直ちにディスクの情報を読み取ります。

各部の名称と機能 —リモコン部—

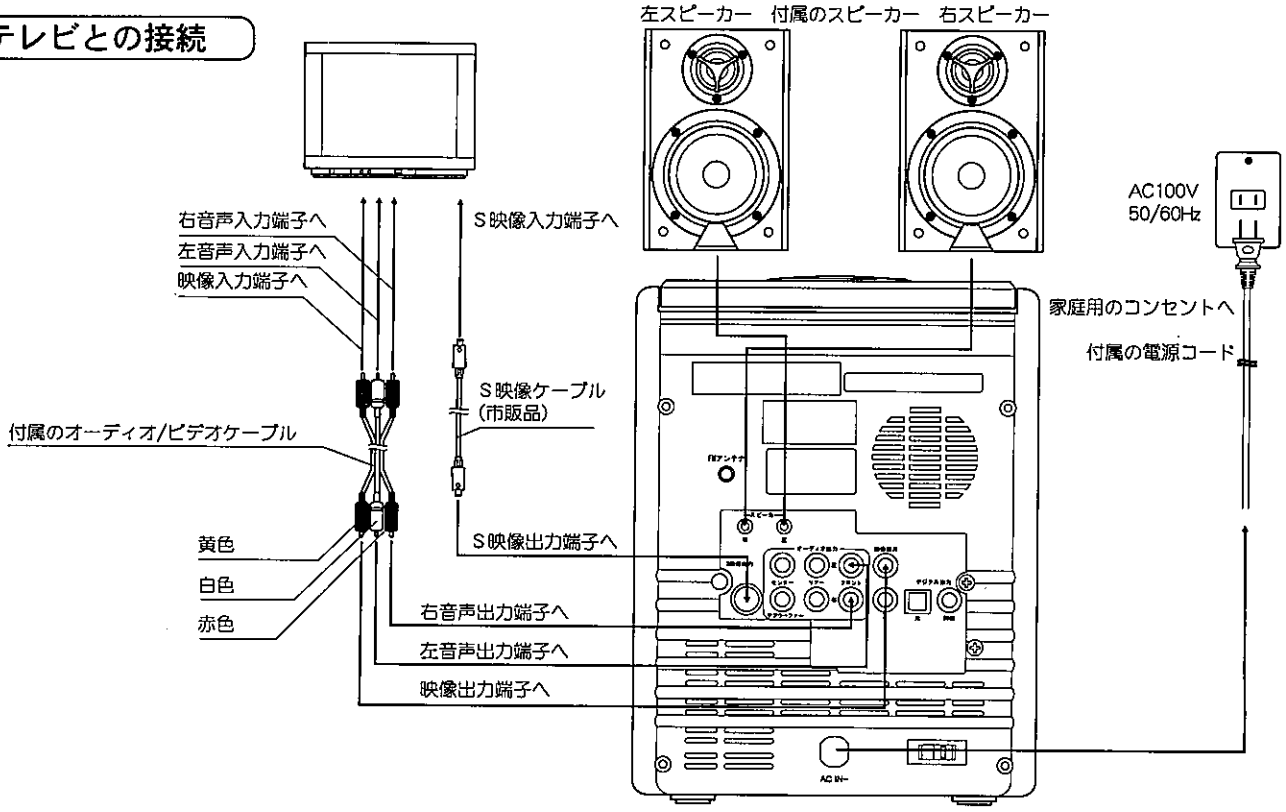
1. **電源ボタン**
主電源が入っているときに電源ボタンを押すと、電源の入/切の操作ができます。
2. **ディスプレイボタン**
再生中にディスプレイボタンを押すと、経過時間と残り時間が画面に表示されます。
3. **ズームボタン**
再生中にズームボタンを押すと、画像が拡大されます。
4. **リピートA-Bボタン**
リピートA-Bボタンを押すと、指定した箇所を繰り返し再生します。
5. **バンド切換・リピート１曲/全曲ボタン**
ラジオのFM/AMを切り換えます。
ディスク再生中にリピート１曲/全曲ボタンを押すと、１曲リピートまたは全曲(全チャプター、全タイトル)を繰り返し再生します。
6. **DVD/CD/MP3再生/一時停止ボタン**
DVD/CD/MP3を再生または一時停止します。
7. **ナビゲーションボタン**
左方向ボタン
8. **決定ボタン**
設定/選択した項目を実行します。
9. **ランダムボタン**
ランダムボタンを押すと、チャプター/タイトル(DVD)またはトラック(CD/MP3)をランダムに再生します。
10. **DVDステップボタン**
静止画面を表示します。
11. **DVD/CD/MP3巻戻しボタン**
巻戻します。
12. **DVD/CD/MP3早送りボタン**
早送りします。
13. **サブタイトルボタン**
異なる言語の字幕が画面に表示されます。
14. **アングル切換ボタン**
複数のアングルが収録されているDVDでは、再生中にボタンを押すと、アングルが切り換わります。
15. **プログラムボタン**
チャプター/タイトル(DVD)またはトラック(CD/MP3)を指定した順に再生します。
16. **メニューボタン**
DVDのメニュー画面を表示します。
17. **ファンクションボタン**
DVD/ラジオ/カセットテープを切換えます。
18. **PAL/NTSC切換ボタン**
PAL/NTSCの切換をします。日本ではNTSC方式のため、出荷時の設定はNTSCになっています。
19. **ダイジェストボタン**
DVDの予告編を見ることができます。
20. **数字ボタン**
タイトル/チャプター/トラックの番号を選択します。
21. **クリアーボタン**
画面表示を消します。
22. **＋10ボタン**
10ずつトラック数またはチャプター数を加算することができます。
23. **DVD/CD/MP3停止ボタン**
DVD/CD/MP3を停止します。
24. **ナビゲーションボタン**
上方向ボタン。
25. **ナビゲーションボタン**
右方向ボタン。
26. **ナビゲーションボタン**
下方向ボタン。
27. **サーチボタン**
再生中にボタンを押し、数字ボタンで番号を押します。
28. **スローボタン**
スロー再生します。
29. **リターンボタン**
再生中にボタンを押すと、最初のシーンに戻ります。
30. **DVD/CD/MP3スキップ ▶▶|**
次のチャプター(DVD)またはトラック(CD/MP3)を頭出しします。
31. **DVD/CD/MP3スキップ |◀◀**
前のチャプター(DVD)またはトラック(CD/MP3)を頭出しします。
32. **音量＋ボタン**
音が大きくなります。
33. **オーディオボタン**
音声チャンネルを選択します。
34. **音量－ボタン**
音が小さくなります。
35. **タイトルボタン**
再生中にこのボタンを押すと、タイトル画面に切り替わります。
36. **消音ボタン**
音が消えます。
37. **設定ボタン**
初期設定メニューになります。



接続するには

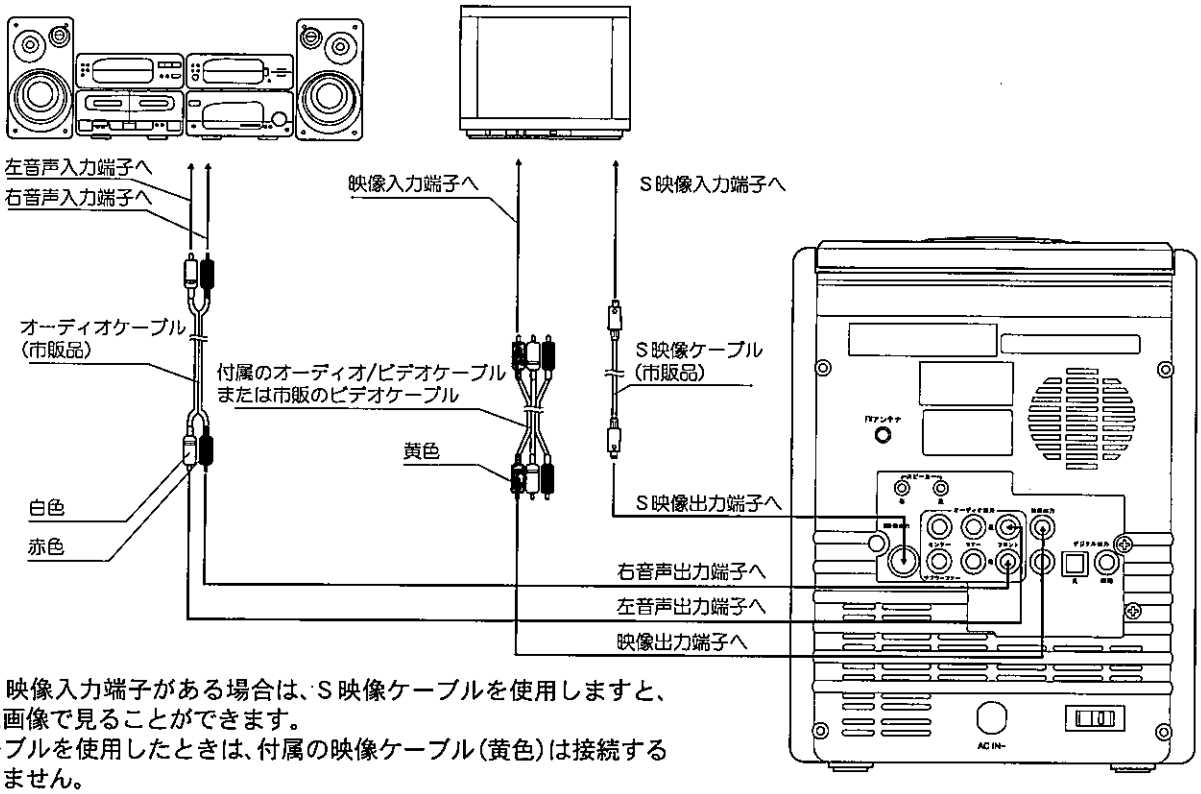
※AV入力端子のないテレビとの接続はできません。
※機器の接続を行うときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

テレビとの接続



※テレビにS映像入力端子がある場合は、S映像ケーブルを使用しますと、より鮮明な画像で見ることができます。
※S映像ケーブルを使用したときは、付属の映像ケーブル(黄色)は接続する必要はありません。
※モノラルテレビに接続する時は右音声ケーブル(赤色)は接続する必要はありません。
※付属のスピーカーは左右どちらでも使えますので置く位置によりスピーカー端子の左右を決めてください。
(スピーカーコード長1.6m)

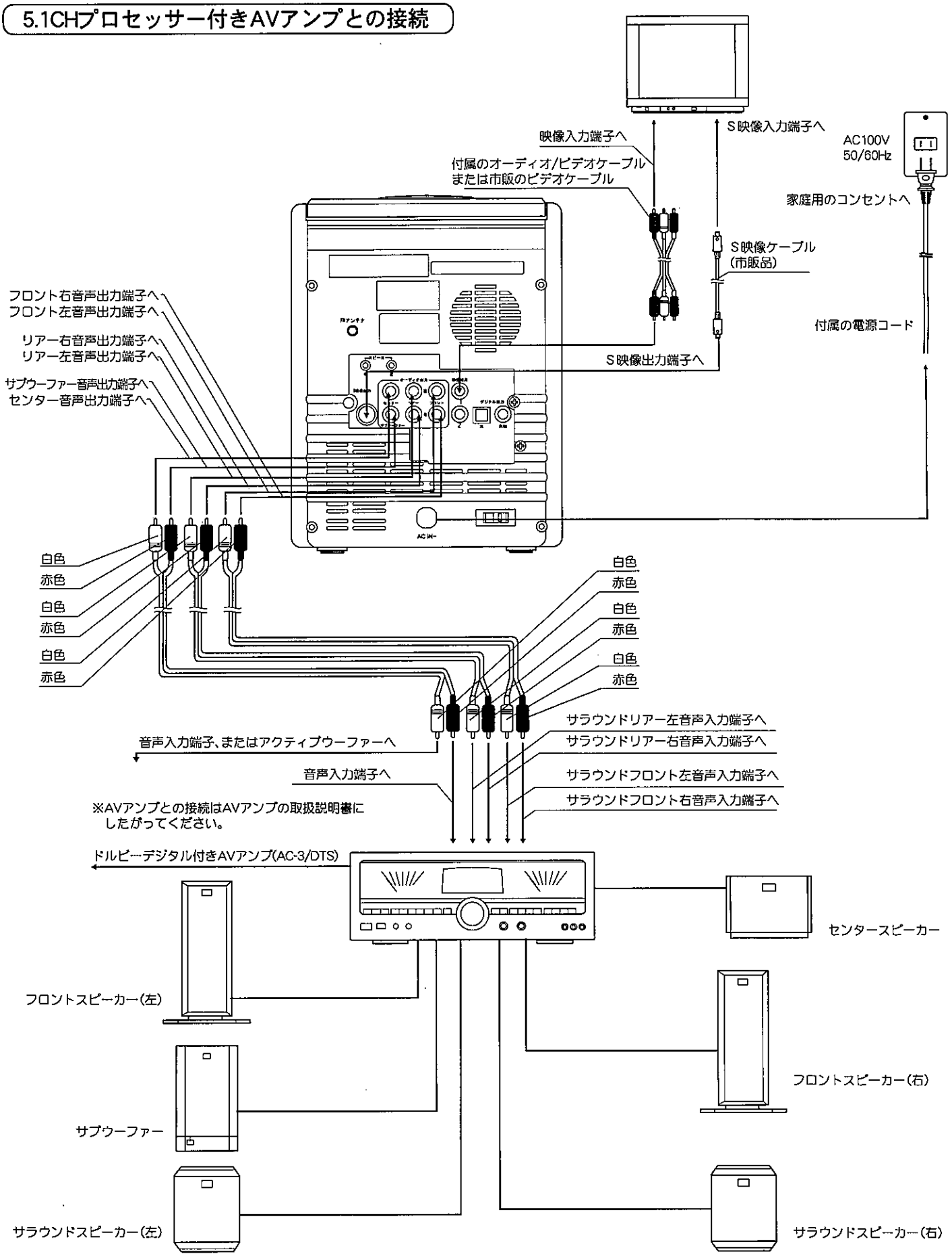
オーディオシステムとの接続



※テレビにS映像入力端子がある場合は、S映像ケーブルを使用しますと、より鮮明な画像で見ることができます。
※S映像ケーブルを使用したときは、付属の映像ケーブル(黄色)は接続する必要はありません。

接続するには

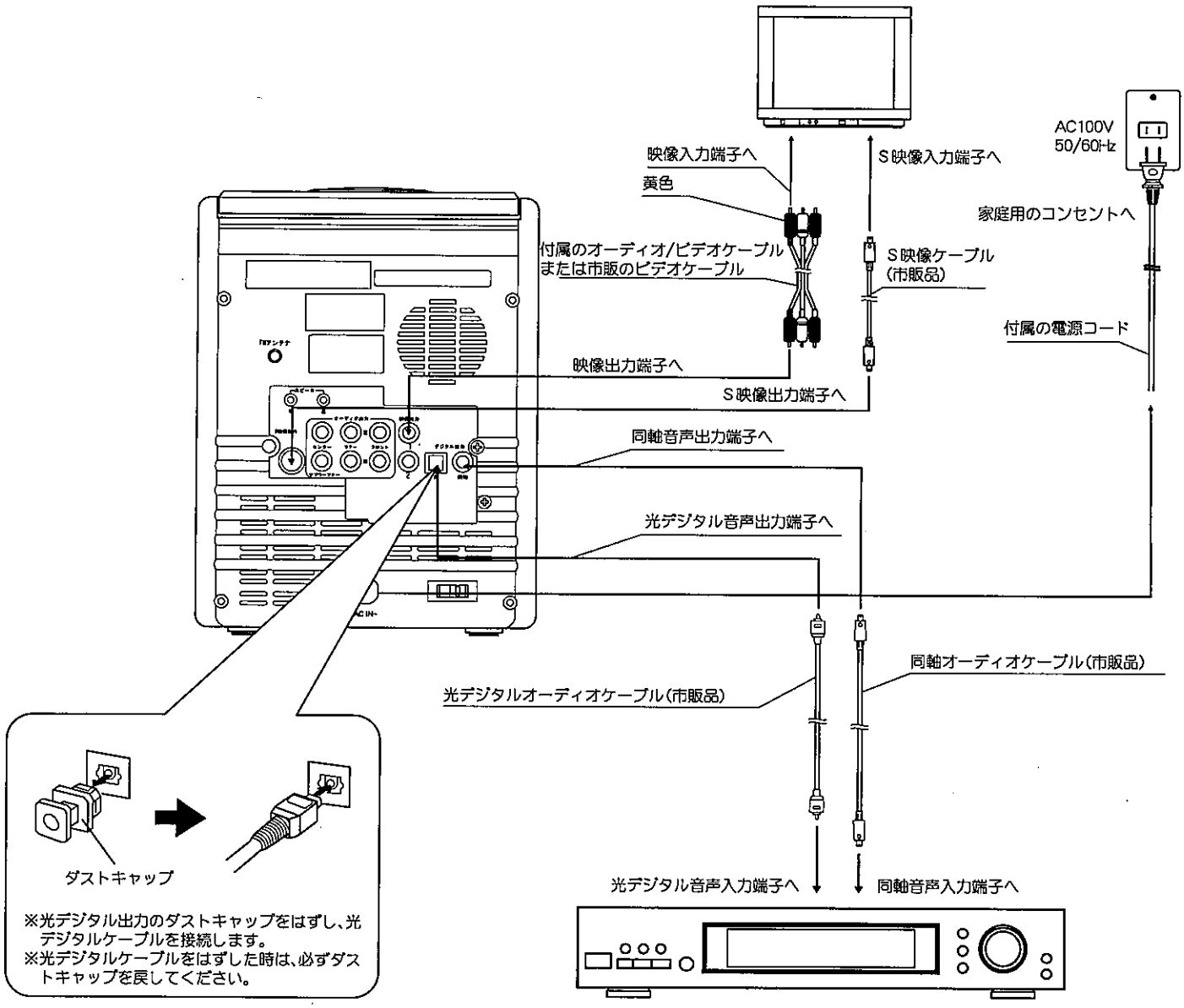
5.1CHプロセッサー付きAVアンプとの接続



※テレビにS映像入力端子がある場合は、S映像ケーブルを使用しますと、より鮮明な画像で見ることができます。
※S映像ケーブルを使用したときは、付属の映像ケーブル(黄色)は接続する必要はありません。

接続するには

ドルビーデジタル(AC-3/DTS)プロセッサー付きデコーダーとの接続



※テレビにS映像入力端子がある場合は、S映像ケーブルを使用しますと、より鮮明な画像で見ることができます。
※S映像ケーブルを使用したときは、付属の映像ケーブル(黄色)は接続する必要はありません。
※光デジタルオーディオケーブルと同軸オーディオケーブルは、どちらか一方だけ接続してご使用ください。

リモコンを使うには

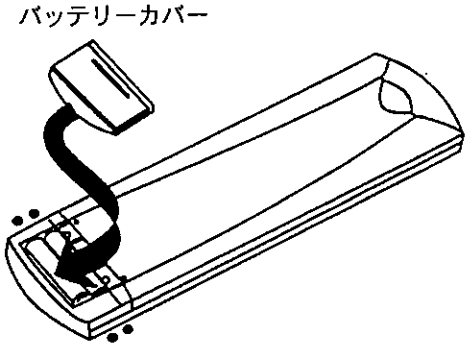
乾電池の入れ方

1. 電池ケースカバー矢印部を矢印方向に押し、持ち上げるようにしてバッテリーカバーをはずしてください。
2. 単４形乾電池２個を＋プラス/－マイナス表示の指示どおり正しく入れてください。
3. 電池カバーケースを元に戻します。

※乾電池を交換する目安
リモコン操作ができなかったり不安定なとき。

※乾電池の誤った使い方は、液もれや破裂の原因につながります。
つぎの点にご注意ください。

- 乾電池は＋プラスと－マイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。
- 乾電池は必ず新しいものをご使用ください。
- 新しい乾電池とすでに何回か使用している乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の異なる乾電池（メーカー名や品番の異なるもの）を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には充電式と、充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。万一乾電池から液もれがおこったときには、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。液もれ後の放置期間によっては内部が故障する恐れがあります。
- 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

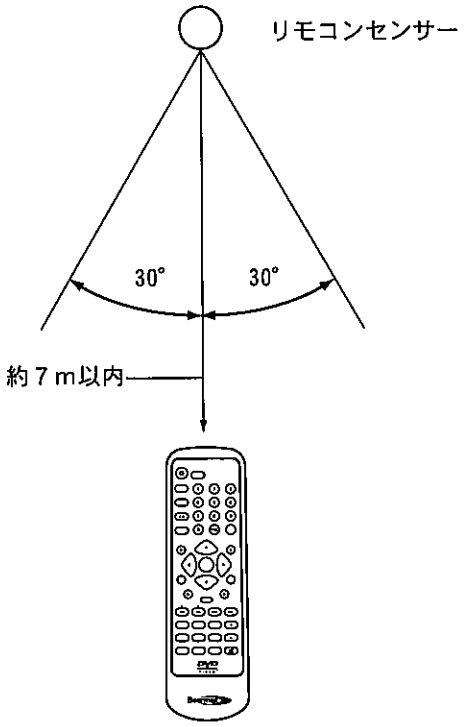


リモコンの使い方

リモコンはリモコンセンサーに向けて操作してください。

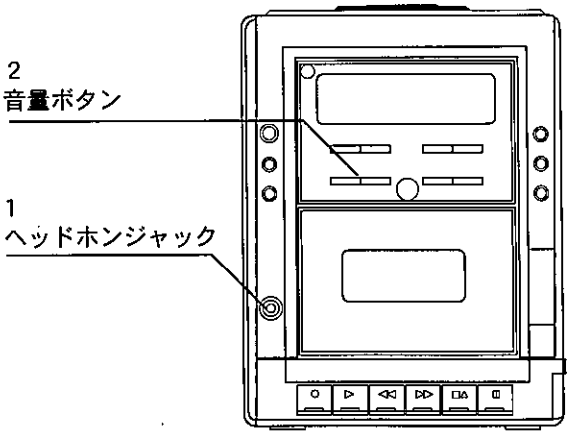
※リモコンセンサーの受光範囲は、リモコンセンサーより約７m、角度は左右上下約30度以内です。

※5.1chサラウンドでご使用の場合、リモコンで音量調節はできません。



別売りのヘッドホンを使うには

1. ヘッドホンをヘッドホンジャックに接続します。
2. 本体またはリモコンの音量ボタンを押して、音量を調節します。

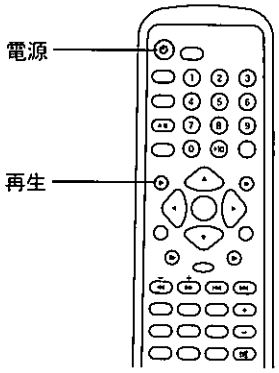


DVDを再生するには

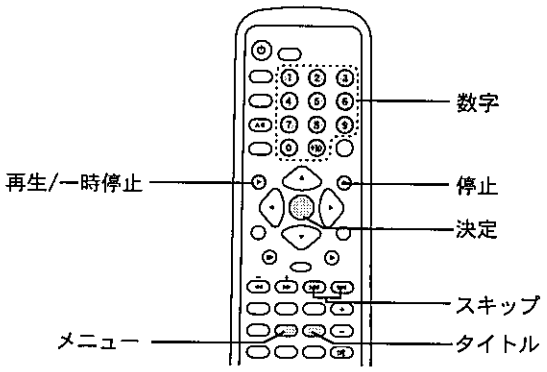
【準備】 DVDを楽しむ前に

テレビのスイッチを入れ、テレビの入力切換をビデオにします。すでにプレーヤーがステレオに接続されている場合は、ステレオのスイッチも入れてください。

基本操作



1. 電源ボタンを押してスイッチを入れます。
2. DVD/CD/MP3ドアー"開"ボタンを押してドアーを開けます。
3. レーベル面を上にしてDVDを入れます。
4. DVD/CD/MP3ドアー"閉じる"を押してドアーを閉めます。DVDを即座に読み込み、スタートします。

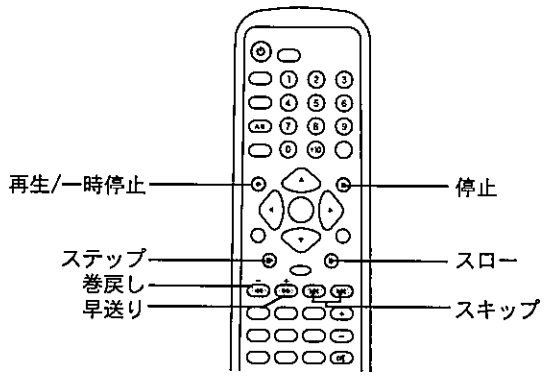


5. 液晶ディスプレイにメニューが表示されたら、ナビゲーションボタンか数字ボタンを押し、トラックナンバーを選びます。決定ボタンを押します。
6. メニュー表示が続いているとき、
   DVDスキップボタン ▶▶| 一次の画面に移りたいとき
   DVDスキップボタン |◀◀ 一前の画面に戻りたいとき
   を押します。
   ※いくつかのソフトウエアの製造上、NEXTとPREVが使用できない場合があります。
7. 停止したいときは、タイトルボタンもしくはメニュー表示で、DVD、PRESS TITLE、MENU or RETURN、Video CD、press RETURNを押します。(DVDの種類によってボタンが異なります。)
8. DVDを取り出したいときは、DVD/CD/MP3ドアー"開"ボタンを押します。

DVDを停止するには

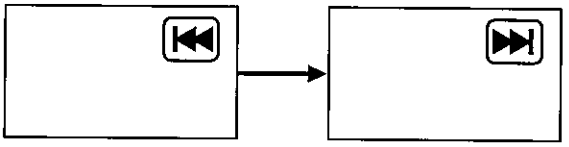
【便利な停止ボタンの使い方】

停止したあとに再度再生すると停止したところから再生が始まります。(リジューム機能)DVDドアーを開けたときや、再度DVD停止ボタンを押したときはリジューム機能は解除されます。



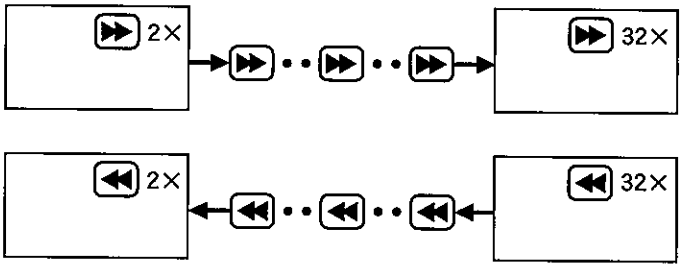
スキップ再生

1. 再生中にスキップボタン ▶▶| を押すと、チャプター(DVD)またはトラック(ビデオCD/CD)が次に進みます。
2. 再生中にスキップボタン |◀◀ を押すと、チャプター(DVD)またはトラック(ビデオCD/CD)が前に戻ります。



早送り/巻戻し再生

1. 再生中に早送りボタン、もしくは巻戻しボタンを押すと速度が速くなります。
   テレビ画面に速度(2×、4×、8×、16×、32×)が表示されます。



一時停止/コマ送り再生

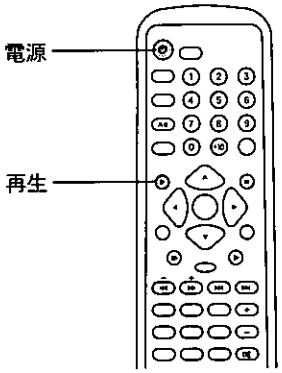
1. 再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、その場面で一時停止します。
2. ステップボタンを押すと、コマ送りで再生されます。
3. 再度、再生/一時停止ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生 —リモコンのみ—

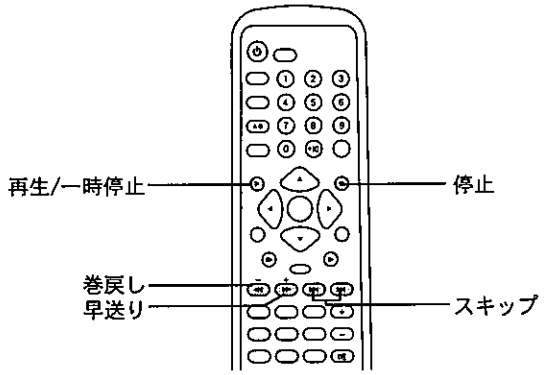
1. 再生中にスローボタンを押すと、スロー再生になります。
2. 再度スローボタンを押すと1/2のスピードになり、ボタンを押すたびに1/4、1/8、1/16のスピードになります。
3. もう一度、再生/一時停止ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

CDを再生するには

基本操作



1. 電源ボタンを押してスイッチを入れます。
2. DVD/CD/MP3ドアー"開"ボタンを押してドアーを開けます。
3. レーベル面を上にしてCDを入れます。
4. DVD/CD/MP3ドアー"閉じる"を押してドアーを閉めます。CDを即座に読み込み、スタートします。
   ディスプレイにトラックの経過時間が表示されます。
   ディスプレイボタンを1回押すとトラックの残り時間が表示されます。2回押すとCDの経過時間、3回押すとCDの残り時間が表示されます。
5. 停止したいときは、停止ボタンを押します。



スキップ再生

1. 再生中にスキップボタン ▶▶| を押すと、トラックが次に進みます。
2. 再生中にスキップボタン |◀◀ を押すと、トラックが前に戻ります。

早送り/巻戻し再生

1. 再生中に早送りボタンを押すと早送りに、巻戻しボタンを押すと巻戻しができます。

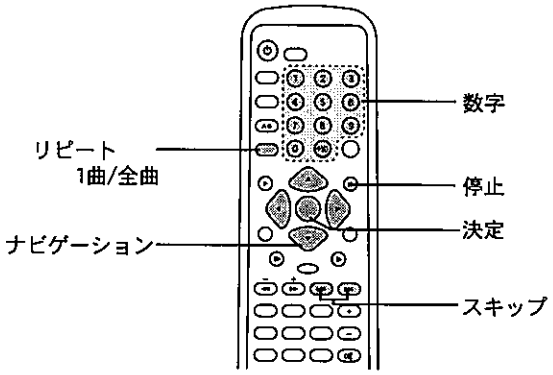
一時停止

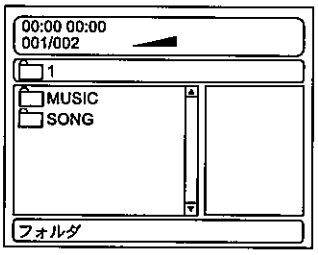
1. 再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、その場面で一時停止します。
2. 再度、再生/一時停止ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

MP3を再生するには

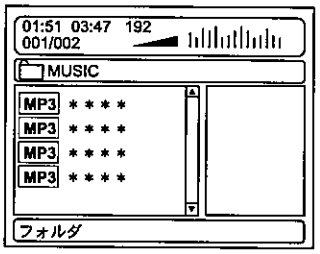
基本操作

1. MP3がフォーマットされたディスクを入れるとディスク情報を読み取ります。ディスプレイ画面にすべてのフォルダが表示されます。
2. 再生したいフォルダをリモコンのナビゲーションボタンで選び、決定ボタンを押します。
3. 選択したフォルダのトラック名が表示されます。お好きなトラック名を選び、決定ボタンを押すと再生が始まります。
4. スキップボタンを押すと次のトラックもしくは前のトラックに戻ります。
5. リピート1曲/全曲ボタンを押すと再生パターンが変わります。
   ◆フォルダ
   フォルダ内の全てのトラックが再生されます。
   ◆シャッフル
   フォルダ内の全てのトラックを一通りランダムに再生したあと、停止します。
   ◆ランダム
   フォルダ内のトラックをランダムに再生し続けます。
   ◆シングル
   1つのトラックのみが再生されます。
   ◆リピート1
   1つのトラックのみリピート再生されます。
   ◆全てリピート
   全てのトラックがリピート再生されます。





〈フォルダを選択し決定〉



〈トラックを選択し決定〉

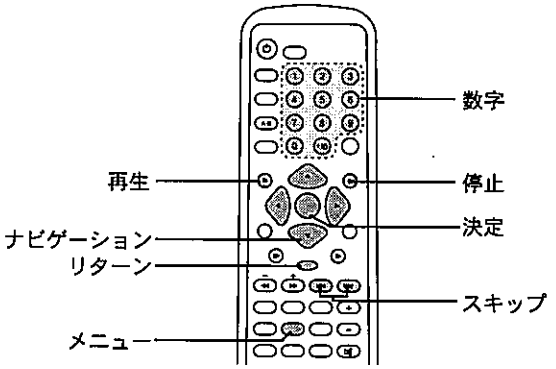
VCD(ビデオCD)を再生するには

1. 電源ボタンを押してスイッチを入れます。
2. DVD/CD/MP3ドアー"開"ボタンを押してドアーを開けます。
3. レーベル面を上にしてVCDを入れます。
4. DVD/CD/MP3ドアー"閉じる"を押してドアーを閉めます。VCDを即座に読み込み、スタートします。
5. PBC付きビデオ2.0/3.0を再生すると、画面にトラックが表示されます。
   表示されないときはメニューボタンを押してPBCオンにしてください。

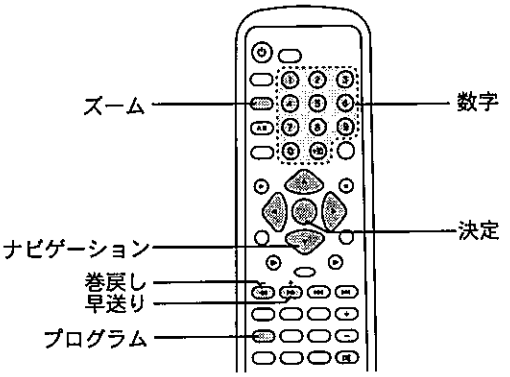
※ ディスクの記憶方式によって、メニューが表示されない場合もあります。

6. トラック番号をリモコンの数字ボタンを使って選択します。0～9の時はその数字ボタンを押し、10以上の時は最初に+10のボタンを押し、次に0～9のボタンを押します。

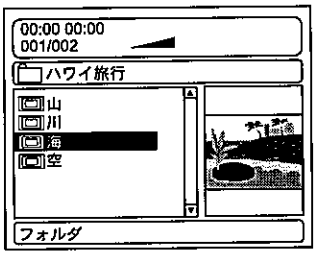
- 再生中にリターンボタンを押すとメインメニューに戻ります。
- スキップボタン▶▶|を押すと次に、スキップボタン|◀◀を押すと前に戻ります。



ピクチャーCDを再生するには



・コダックピクチャーCDをセットすると自動的にスライドショーが始まります。
・JPEGピクチャーCDは、リモコンのナビゲーションボタンでフォルダを指定し、決定ボタンを押します。
・フォルダのファイルが表示されますので、見たいファイルをナビゲーションボタンで選択し、決定ボタンを押すと選択されたファイルから再生されます。



再生モード

リピート１曲/全曲ボタンを押すと再生パターンが変わります。

◆フォルダ
　フォルダ内の全てのファイルがリピート再生されます。
◆シャッフル
　フォルダ内の全てのファイルを一通りランダムに再生したあと、停止します。
◆ランダム
　フォルダ内のファイルをランダムに再生し続けます。
◆シングル
　１つのファイルのみが再生されます。
◆リピート１
　１つのファイルのみリピート再生されます。
◆全てリピート
　全てのファイルがリピート再生されます。

再生中に最初の画面に戻る時は、メニューボタンを押します。
再生中に停止ボタンを押すと、一覧表示になります。
選択されたファイルとフォルダはテレビ画面に表示されます。ただし表示までにかかる時間はデータの容量によって異なります。

スキップ再生

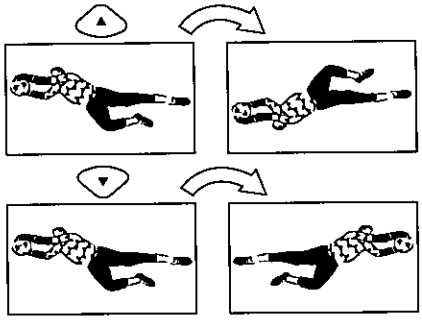
再生中にスキップボタンを押すと、次の写真もしくは前の写真がテレビ画面に表示されます。
５秒経過すると、自動的に次の写真に移ります。

画像回転

・リモコンの右ナビゲーションボタンを押すと、時計方向に画像が回転します。
・左ナビゲーションボタンを押すと、反時計回りに画像が回転します。

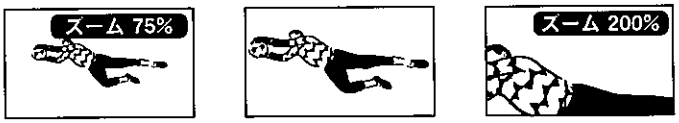
画像反転

・リモコンの上ナビゲーションボタンを押すと、画像が垂直方向に反転します。
・下ナビゲーションボタンを押すと、画像が水平方向に反転します。

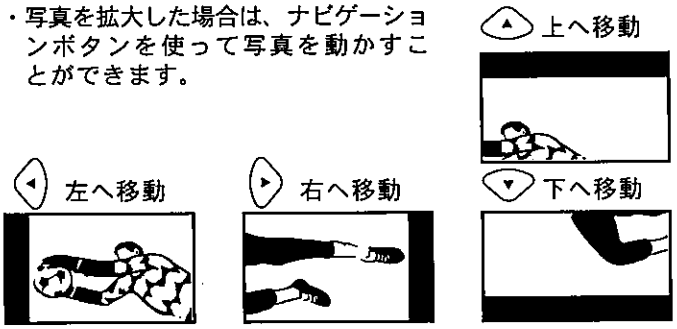


画像縮小/ズーム

・ズームボタンを押すとズームモードになります。
・早送りボタンを押すと、写真が100%、125%、150%、200%に拡大できます。
・巻戻しボタンを押すと、写真が50%、75%、100%に縮小できます。



・写真を拡大した場合は、ナビゲーションボタンを使って写真を動かすことができます。

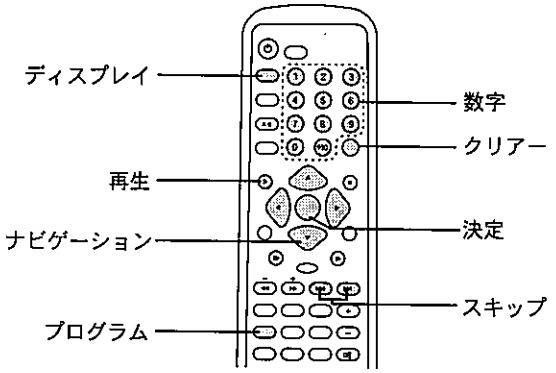


スライドショー効果 —リモコンのみ—

リモコンのプログラムボタンを押すと、画像が変わるときの効果を変えることができます。

1. 上から下へ新しい画面に変わります。
2. 下から上へ新しい画面に変わります。
3. 左から右へ新しい画面に変わります。
4. 右から左へ新しい画面に変わります。
5. 左上角から右下角へ新しい画面に変わります。
6. 右上角から左下角へ新しい画面に変わります。
7. 左下角から右上角へ新しい画面に変わります。
8. 右下角から左上角へ新しい画面に変わります。
9. 中間から上下へ新しい画面に変わります。
10. 中間から左右へ新しい画面に変わります。
11. 上下から中間へ新しい画面に変わります。
12. 左右から中間へ新しい画面に変わります。
13. 横縞模様で新しい画面に変わります。
14. 縦縞模様で新しい画面に変わります。
15. 上下左右角から中央へ新しい画面に変わります。
16. リピート。
17. 使用不可。

便利な機能



画面表示について

リモコンを使って再生中にディスプレイボタンを押すと、画面の時間表示が切り換わります。

経過時間
タイトル残り時間
チャプター経過時間
チャプター残り時間
表示オフ

TT＝タイトル番号　CH＝チャプター番号

プログラム再生

設定した順序で再生します。

1．プログラムボタンを押すとプログラムメニューが表示されます。

プログラム	
01 TT CH	06 TT CH
02 TT CH	07 TT CH
03 TT CH	08 TT CH
04 TT CH	09 TT CH
05 TT CH	10 TT CH

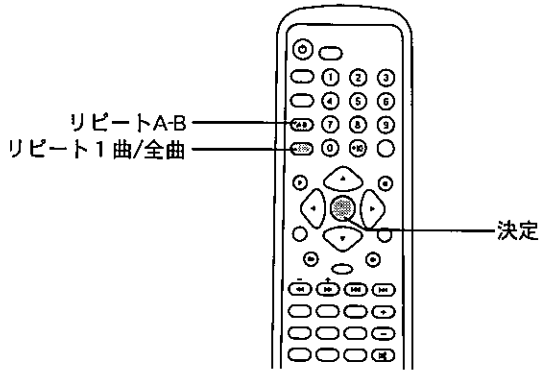
2．ナビゲーションボタンを使って項目を選択し決定ボタンを押します。数字ボタンを使ってタイトル/チャプター番号を入力します。スキップボタン ▶▶| を押すと次の画面に移ります。20チャプター/トラックまで設定できます。

注）"0"は入力の必要はありません。トラック番号が10以上の場合は、＋10ボタンを押してから数字ボタンを押します。

例：トラック3―ボタン３を押す。
トラック12―ボタン+10を押してからボタン２を押す。
トラック21―ボタン+10を２回押してからボタン１を押す。

3．Startを選択するとプログラム順に再生します。

4．プログラムを設定した全チャプター/トラックの再生が終了すると停止します。終了後プログラムは消滅します。プログラム再生中に停止ボタンを２回押してもプログラムを消滅します。



リピート再生

【１曲/全曲リピート再生】

再生中に１曲/全曲リピートボタンを押し決定ボタンを押すと、チャプターまたは１タイトル(DVD)、または１トラック(VCD/CD)がリピート再生されます。

DVDの場合

チャプター	タイトル	全て
チャプターを繰り返します。	タイトルを繰り返します。	全てを繰り返します。

VCD/CDの場合

トラック	全て
トラックを繰り返します。	全てを繰り返します。

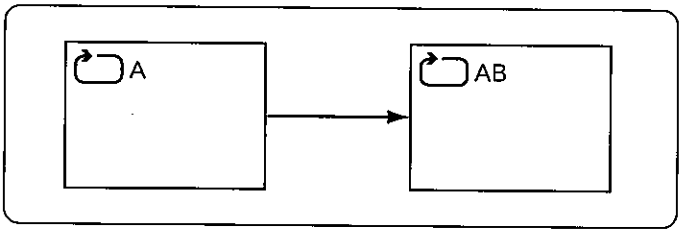
【A-Bリピート再生】

指定した場面の間を繰り返し再生します。

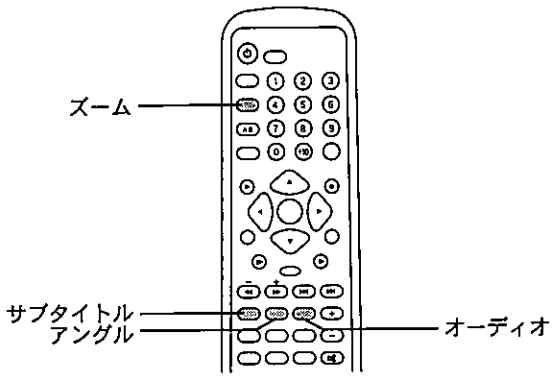
1．再生中に、繰り返し再生を始めたい場面でA-Bリピートボタンを押します。

2．繰り返し再生を終了したい場面で再度A-Bリピートボタンを押します。AとBの指定した間を繰り返し再生します。

3．もう１度A-Bリピートボタンを押すと元の状態に戻ります。



便利な機能



字幕切換 —DVDのみ—

複数の字幕が記録されているDVDを再生するときに、字幕を切り換えることができます。

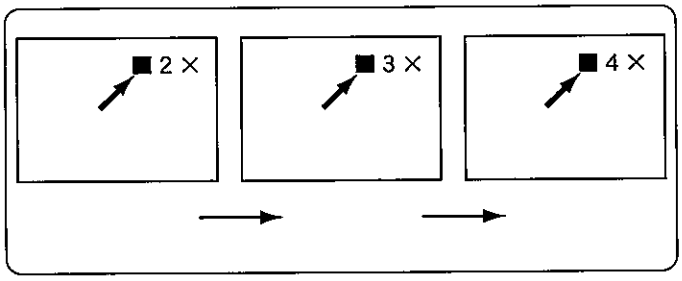
・DVD再生中にサブタイトルボタンを押します。
1回押すごとに字幕が切り換わります。

※字幕が記録されていないDVDでは使用できません。

ズーム再生

動画や静止画でお楽しみいただけます。

・再生中にズームボタンを押すと、下の図のように表示され画面が拡大されます。



・ナビゲーションボタンを押して拡大部分を変更できます。

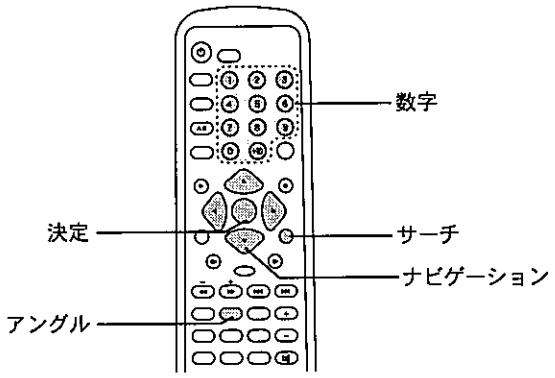
音声切換 —DVD/VCDのみ—

複数の音声が記録されているディスクを再生するときに、音声を切り換えることができます。

・DVD再生中にオーディオボタンを押します。現在の音声がテレビ画面に表示され、再度ボタンを押すと音声が変わります。

・VCD再生中にオーディオボタンを押すと、オーディオ出力モードに変わります。(モノ左・モノ右・ミックスモノ・ステレオ)

※音声が記録されていないDVD/VCDでは使用できません。
電源を消したときやディスクを取り出したときは、初期設定で選択された音声になります。



アングル切換 —DVDのみ—

複数のアングルで記録されたDVDを再生するとき、同じシーンを違ったアングルから見ることができます。

・DVD再生中にアングルボタンを押すといくつかのアングルがテレビ画面に表示され、ボタンを押すと違うアングルに変わります。

好きなシーンを探す

1. DVD再生中にサーチボタンを押し、ナビゲーションボタンでタイトル、チャプター、タイトル(時間)もしくはチャプター(時間)のいずれかを選択します。
2. 決定ボタンを押します。
3. 数字ボタンで、数字を入力します。
4. 再度サーチボタンを押すと、元の再生画面に戻ります。

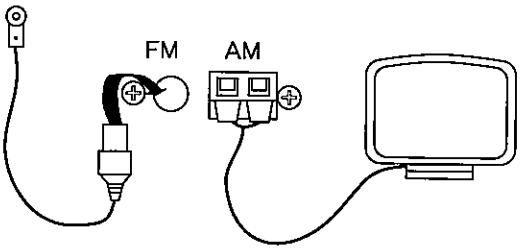
ヘッドホンを使用するには

3.5mmサイズのヘッドホン(別売り)をヘッドホンジャックに差し込むと、ヘッドホンをお使いいただけます。

ラジオを聞くには

1. 電源ボタンを押します。
2. 本体のファンクションボタンでラジオを選択します。
3. バンド切換ボタンでFMまたはAMを選びます。
4. 選局ボタンで聞きたい放送局を選択します。
5. アンテナや本体を動かして受信状態の良い方向に合わせます。
6. 音量ボタンで音量を調節します。
7. プログラムを設定する時は、最初にプログラムボタンを押し、数字ボタンで聞きたいプログラムを選びます。再度プログラムボタンを押すと完了します。
8. 電源を切る時は、ファンクションボタンでテープを選択します。

※ AM/FMアンテナが正しく接続されていないと、受信できません。本体への接続方法は下図を参照ください。



カセットテープを使うには

カセットテープを聞くには

1. 本体前面の開を手前に押します。
2. 停止/取り出しボタンを押して、ドアーを開きます。
3. カセットテープの露出面を下にして、デッキに入れます。
4. ドアーを閉じます。
5. ファンクションボタンを押してテープに設定します。
6. 再生ボタンを押します。
7. 音量ボタンで音量を調節します。
8. 早送り/巻戻しするには早送り、もしくは巻戻しボタンを押します。
9. 一時停止ボタンを押すと、編集中や録音中に一時停止できます。
10. カセットテープを止めたい時は、停止/取り出しボタンを押します。
11. カセットテープを取り出したい時は、再度、停止/取り出しボタンを押すとドアーが開きます。

※ 長期間ご使用にならない場合は、電源プラグからコンセントを抜いてください。

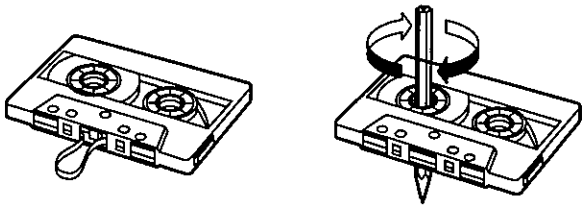
※ ご使用にならない場合は、ボタンを押し下げたままにしないでください。故障の原因になります。

カセットテープの選び方

- テープの品質と状態は機械の性能に影響を与えます。
- 状態が悪いテープは、絡まりやすく、故障を引き起こす恐れがありますので気を付けてください。
- テープが伸びていると、適切な速度で回転しないため、音がひずむ場合があります。
- 状態が良いテープをご使用ください。
- C-120(120分テープ)以上の長時間テープはご使用にならないでください。テープの量が多いとテープが薄くなり、り、機械にからまりやすく故障を引き起こす恐れがあります。
- タイプ1、ノーマルポジションのテープをお使いください。

カセットテープの取り扱いについて

- 再生中に音が鈍くなった時は、まれに酸化物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングテープのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので、使いすぎにはご注意ください。
- 先のとがった物で付着物をはがそうとしないでください。
- テープがからまると、充分な速度で再生できません。たるんでいる場合は、図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



- テープの巻きつきがきついと感じる時は、テープの窓に線が詰まっているように見えます。その時は、一度テープを早送りし巻き戻してください。
- TVセットやスピーカーなど、磁気のそばにテープを置かないでください。磁気はテープの感度を下げ、録音を消す恐れがあります。
- 温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。

カセットテープを使うには （つづき）

DVDから録音するには

1. カセットテープを入れます。
2. DVDを入れ、ドアーを閉めます。
3. ファンクションボタンでDVDに設定します。
4. カセットテープ一時停止ボタンを押します。
5. カセットテープ録音ボタンと再生ボタンを同時に押します。
6. DVDの再生ボタンを押します。
7. カセットテープ一時停止ボタンを押します。録音が始まります。
8. 録音を止めたい時は、カセットテープ停止ボタンを押します。

本機のラジオから録音するには

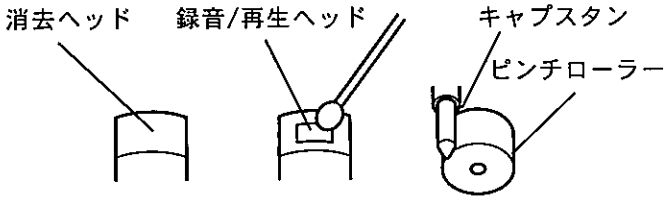
1. カセットテープを入れます。
2. カセットテープを早送りか巻き戻しでテープの最初に合わせます。
3. “ラジオを聞くには”の手順にしたがってラジオが聞ける状態にします。
4. 録音したいラジオに合わせ、カセットテープ録音ボタンと再生ボタンを同時に押します。
   録音が始まります。テープが端までいくと自動的に停止します。
5. 途中で止める時は、カセットテープ停止/取り出しボタンを押します。

お手入れのしかた

ヘッド・ピンチローラー、キャプスタン（カセット収納部）を清掃するには

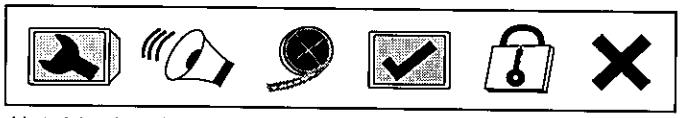
カセットテープを良い音でお楽しみいただくために、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをいつもきれいにしておいてください。これらが汚れていると、音が歪んだり小さくなったり、録音できない、などの現象が起こります。このようなときは次の手順で清掃してください。

1. 停止/取り出しボタンを押してカセットドアーを開けます。カセットテープが入っているときには取り出します。
2. 綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをていねいにふいてください。
3. テープの使用はヘッド・ピンチローラー、キャプスタンが乾いてからにしてください。

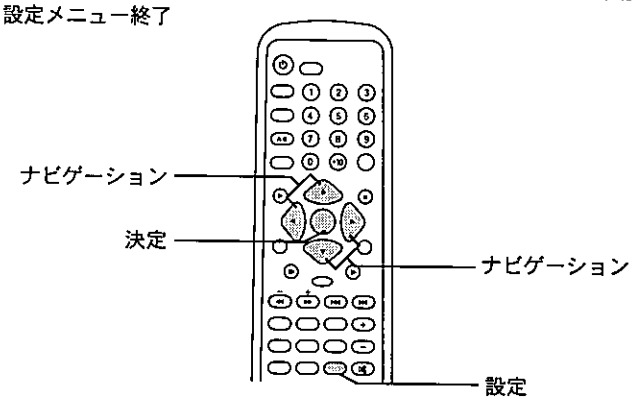


初期設定

リモコンの設定ボタンを押すと、テレビ画面には下記の設定メニューが表示されます。



(左から)一般設定/オーディオ設定/ビデオ設定/選択/パスワード設定/設定メニュー終了



設定ページの操作手順

1. ファンクションボタンでDVDを選択します。
2. 設定ボタンを押します。
3. ナビゲーションボタンを使って希望する項目を選択すると、それぞれの項目の設定内容が表示されます。希望する内容の設定を選択し、決定ボタンを押します。
4. 左右のナビゲーションボタンで、他の設定ページに移動します。
5. 再度設定ボタンを押すと、最初の画面に戻ります。

一度設定すると変更するまで同じ設定が保存されます。

一般設定ページ

一般設定ページ
TV表示
アングルマーク
OSD言語
スクリーンセーバー

- **TV表示**
  テレビ出力モードを選びます。
  標準/PS：パンスキャン
  標準/LB：レターボックス
  ワイド：16:9ワイドテレビ
- **アングルマーク**
  マルチアングルのDVDソフトを再生するとき、マルチアングルアイコンの表示を設定します。
  オン：アイコン表示
  オート：自動的にアイコン表示
- **OSD言語**
  画面表示の言語を設定します。
- **スクリーンセーバー**
  ブラウン管の焼き付きを防止するために、約2分間使用しない場合に、DVDのロゴが画面上で動きます。
  オン：スクリーンセーバー有効
  オフ：スクリーンセーバー無効

オーディオ設定ページ

オーディオ設定ページ
スピーカー設定
SPDIF設定
音響設定
3 D処理

- **スピーカー設定**
  スピーカーの出力レベルを設定します。
  ダウンミックス
  LT/RT：左右ミックスモード
  ステレオ：5.1チャンネルを使用しないとき
  オフ　：5.1チャンネルを使用するとき
  フロントスピーカー／大・小
  センタースピーカー／大・小・オフ
  背部スピーカー／大・小・オフ
  サブウーファー／オン・オフ
- **SPDIF設定**
  SPDIF出力
  デジタル出力のフォーマットです。
  マニュアルが設定されているときは、CD・DOLBYデジタルDTS・MPEG・PCMチャンネル用にそれぞれ設定できます。ほかの設定の場合は、RAWもしくはPCMで出力します。
  SPDIFオフ・RAW・PCM・マニュアル
  【設定例】
  SPDIFオフ
  デジタルアンプ出力に接続していない場合
  RAW
  一般家庭用ホームシアターをご使用の場合
  5.1チャンネルに出力できます。
  PCM
  2チャンネル用デジタルアンプ出力
  高性能サウンドをお楽しみいただけます。
  CD/SPDIFオフ：アナログ端子でテレビやオーディオを接続しているとき。
  RAW：デジタル等のデューダー内蔵アンプを接続しているとき。
  PCM：2チャンネルデジタルアンプを接続しているとき。

  ドルビーデジタル/SPDIFオフ・RAW・PCM
  DTS/SPDIFオフ・RAW・PCM
  MPEG/SPDIFオフ・RAW・PCM
  PCMチャンネル/SPDIF　L/R
  SPDIF　LS/RS
  SPDIF　C/LFE

  LPCM出力
  お使いの接続機器に合わせて設定してください。
  96K・48K
- **音響設定**
  音響プリセット
  聞く音楽に合わせて設定してください。
  なし・ロック・ポップ・ライブ・ダンス・テクノ・クラシック・ソフト

初期設定

（オーディオ設定　つづき）

・３D処理
アナログオーディオ設定で、5.1チャンネルを選択したときのみ設定が可能です。
Pro Logic Ⅱ
Pro logic Ⅱ/オン・オフ・オート
Mode/Music・Movie・PROロジック・オート
Panorama/オン・オフ
Dimension/Size－３～３
Center Width/Level 0～7
Reverb Mode
オフ・コンサート・リビングルーム・ホール・浴室・地下・アリーナ・教会

ビデオ設定ページ

ビデオ設定ページ
ＴＶタイプ

・ＴＶタイプ
PAL（欧州方式）
マルチ
NTSC（日本方式）

選択ページ

選択ページ
PBC
音声言語
字幕
メニュー言語
ペアレンタル
初期値

ディスクが入っていない状態の時のみ設定が可能です。

・PBC
オン・オフ
設定はオンをおすすめします。

・音声言語
言語を選択。
この機能を備えたDVDのみ有効です。

・字幕
字幕を選択。
この機能を備えたDVDのみ有効です。

・メニュー言語
ディスクメニューの言語を選択。
この機能を備えたDVDのみ有効です。

・ペアレンタル
レベルを選択。
この機能を備えたDVDのみ有効です。

・初期値
工場出荷時の設定に戻ります。

パスワード設定ページ

パスワード設定ページ
パスワード
パスワード変更

・パスワード
オン・オフ

・パスワード変更
パスワード変更のときに選択。
【パスワードの変更方法】
1．①古いパスワードの項目に古いパスワードを入力。
2．②新しいパスワードの項目に新しいパスワードを入力。
3．③パスワード確認の項目に、再度新しいパスワードを入力。
もし古いパスワードを忘れた場合は、"8888"を入力するとパスワードが変更できます。

設定メニュー終了

設定が終了しました。
決定ボタンを押すと設定ページを終了します。

故障かな？と思ったら

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に下表でチェックをしてください。、

	症　状	原　因	対処方法
電源	電源が入らない	・電源プラグが外れていませんか。	・電源プラグをコンセントに入れてください。
音	音が聞こえない	・音量が最小になっていませんか。	・音量調節をしてください。
	音がひずむ	・音が大きすぎませんか。	・音量を小さくしてください。
DVD／CD／MP3	ディスクの再生が始まらない	・ディスクが裏返しに入っていませんか。 ・ディスクが汚れていませんか。 ・レンズが汚れていませんか。 ・DVD/CD/MP3ドアーがしっかりと閉まっていますか。 ・ファンクション切換スイッチが"DVD/CD/MP3"になっていますか。 ・一時停止状態になっていませんか。	・ディスクの向きを確かめてください。 ・ディスクを交換するか、清掃してください。 ・レンズをブロワーで清掃してください。 ・DVD/CD/MP3ドアーをしっかりと閉めてください。。 ・ファンクション切換スイッチを"DVD/CD/MP3"にしてください。。 ・再生/一時停止ボタンを押してください。
	ディスクの映像や音が出ない	・DVD/CD/MP3の機械部が結露状態になっていませんか。	・ディスクを取り出しDVDドアーを開けて１時間ほどそのままにしておいてください。
	ディスクの映像や音が飛ぶ	・ディスクが汚れていませんか。 ・ディスクに傷がありませんか。 ・レンズが汚れていませんか。	・ディスクを交換するか清掃してください。 ・ディスクを交換してください。 ・レンズをブロワーで清掃してください。
	正常な動作や表示ができない	・強い振動を与えていませんか。	・安定した場所に置いてください。
	画面がモノクロ表示になる	・テレビ方式がPAL方式になっていませんか。	・本体前面のPAL/NTSC切換ボタンを押して、NTSC方式に切り換えてください。
ラジオ	波のような音が入る	・周波数がずれていませんか。	・周波数を正しく合わせてください。
	雑音が入る	・FMアンテナの向きを調節しましたか。 ・本機の向きを調節しましたか。 ・近くにテレビや蛍光灯等の電気製品はありませんか。	・FMアンテナの向きを調節してください。 ・本機の向きを調節してください。 ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
カセットレコーダー	カセットテープが入らない	・テープの露出面が下になっていますか。	・テープの露出面を下にして入れてください。。
	テープが回転しない	・テープが正しく入っていますか。	・テープが正しく入れてください。
	テープが機械に巻きつく	・ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか。 ・テープが弛んでいませんか。	・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを清掃してください。 ・テープの弛みを直してください。
	早送り・巻き戻しが遅い/回転むらがある	・テープが傷んでいませんか。	・テープの回転具合を確認して、回転の重いテープは使用しないでください。
	再生音が小さい/再生音が割れる/高音が出ない/雑音/音が震える/音が飛ぶ	・ヘッド部が汚れていませんんか。 ・テープが摩耗していませんか。	・市販のヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。 ・新しいテープと交換してください。
	録音状態にならない	・カセット収納部にテープが入っていますか。 ・カセットテープの誤消去防止用ツメが折れていませんか。	・テープを入れて動作を確認してください。 ・ツメの付いているテープと交換するか、セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。
	前に録音されている音が完全に消えない	・消去ヘッドが汚れていませんか。	・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。

主な仕様

●受信周波数
　FM/TV　：76-108.10MHz
　AM　：522-1629KHz
●アンテナ
　FM/TV　：F端子（ワイヤーアンテナ付属）
　AM　：ループアンテナ
●トラック方式　：ステレオ方式
●周波数特性　：20Hz-22KHz(DVD)
　20Hz-22KHz(CD)
　125Hz-6.3KHz(カセットテープ)
●スピーカー　：φ102mm 5W×2、φ50mm 3W×2
●出力端子　：スピーカー端子
　ヘッドホン出力端子
　オーディオ出力端子（フロント/リアー/センター/サブウーファー）
　コンポジットビデオ出力端子
　S映像出力端子
　光デジタル出力端子
　同軸音声出力端子
●実用最大出力　：2.5W×2
●電源　：AC100V 50-60Hz
●消費電力　：40W
●最大外形寸法　：440(L)×213(H)×220(W)mm
●重量　：4.6kg
●付属品　：リモコン
　オーディオ/ビデオケーブル
　FMアンテナ/AMループアンテナ
　単4電池（2個）

保証書

■保証書はよくお読みください。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。内容をお読みいただいた後は、大切に保管してください。

保証書

Bearmax

DVD/ラジオ/カセットプレーヤー
ミニコンポーネントシステム MODEL NO.HTR-601G

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件のもとにおいて無料修理あるいは交換をいたします。

商　品　名	DVD/ラジオ/カセットプレーヤー　ミニコンポーネントシステム　MODEL NO.HTR-601G
保　証　期　間	お買い上げ日から１年間
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日
お買い上げ店	
お客様ご住所	〒 TEL NO.
お　名　前	
ダメージレポート （故障の症状）	

[無料保証規定]

1.正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換をさせていただきます。
2.保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
3.故障の場合は上記のダメージレポートに状況を記入いただき、商品と同封の上、ご郵送ください。
4.使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
5.お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
6.火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障及び損傷は保証の対象外となります。。
7.本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
8.この保証書は日本国内においてのみ有効です。
9.この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

輸入・総発売元：株式会社　クマザキエイム
〒222-0013
横浜市港北区錦が丘12-17
TEL：045-401-7486
FAX：045-435-0057
E-mail:info@kumazaki-aim.co.jp
www.kumazaki-aim.co.jp

 ※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡をとる為にのみ使用するものです。